

火薬庫工事設計明細書（3級火薬庫）

1. 火薬庫の位置及び付近の状況は、別図による。

2. 保安物件との距離

(1) 最大貯蔵量（規則第20条第3項の規定を計算式で明示すること。）

$$\text{爆薬区分} \quad \frac{(\quad)}{25} + \frac{(\quad)}{50} + \frac{(\quad)}{\quad} + \dots \quad \div (\quad) \leq 1$$

$$\text{火工品区分} \quad \frac{(\quad)}{10,000} + \frac{(\quad)}{\quad} + \frac{(\quad)}{\quad} + \dots \quad \div (\quad) \leq 1$$

(2) 火薬庫から保安物件までの保安距離は、下記の事項及び付近の状況図による。

保安物件の種類 (法定距離)	保安物件名	方角及び距離
第1種 () m		
第2種 () m		
第3種 () m		
第4種 () m		

3. 火薬庫の構造及び設備

(1) 火薬庫、土堤、防火設備及び警戒設備の全体設置計画は、火薬庫施設設置図による。

(2) 火薬庫の構造等は、下記の事項並びに立体図、平面図、側面図、断面図、配筋図、基礎図（床下のコンクリート打ち及び隔壁と一体をなすもの）及び小屋組図による。

項 目	火 薬 庫	
壁	全 面	無筋コンクリート造り、厚さ()cm
	隔 壁	()造り、厚さ()cm
	その他	()造り、厚さ()cm
盗難 防止 措置	設置場所	天 井 裏 ・ 屋 根
	種 類	金 網 ・ 有 刺 鉄 線
	鉄線の直径	() mm 、 () 番線
	網目の直径	() cm
小屋組及び屋根		木 造 ・ () 葺

(3) 入口の2重扉、床、通気孔の構造等は下記の事項並びに建具図及び設置図による。

項 目	爆 薬 庫	
内扉	構 造	木製、引戸、片開・両開
	錠の種類	
外扉 本 体	構 造	鉄板製、引戸・開戸、片開・両開
	寸法(mm)	幅() 高() 厚() 見込()
	補強アングル(mm)	縦() 横() 厚()
	合わせ目	隙間()mm 目隠し()mm

外 扉 （ 耐 火 扉 ）	蝶 番	種 類	角 蝶 番		
		長さ及び数	()mm ()カ所		
		心棒が抜けない加工措置			
	ロ ット 棒	取付方法			
		取付箇所	蝶番側の扉側面		
		取付数	上部()本、下部()本		
		直径及び材質	()mm 炭素鋼		
	錠	長さ及び取付寸法	()mm 電気溶接		
		扉枠の固定方法			
		種 類	面付レシーバー・タンプ・ラー本織錠・シリンダー本織錠(面付・堀込)		
錠	デット ボルト	材質	ステンレス鋼・焼入炭素鋼		
		長さ	()cm		
	かんぬきの鉄棒	直径()mm	長さ()mm		
内面の板張り		床面に鉄類を表さない。			
コンクリート打ち		基礎と一体となるコンクリート打ち			
床の高さ		地盤面から()cm			
通 気 孔	幅及び数	()cm ()カ所			
	金 網	鉄線の直径	()mm ()番線		
		網目の直径	()cm		
	鉄棒(幅20cm以上の場合)	直径()mm	間隔()mm		
換気孔の取付数		天井()個、両つま(各)個)			

(4) 土堤又は簡易土堤の構造等は、下記の事項並びに正面図、平面図、断面図及び施設設備図による。

項 目	土 堤	簡 易 土 堤
堤脚から外壁までの距離	()m	
勾配及び高さ	()度 屋頂以上()m	
頂部の厚さ及び堤面の覆い	()m ()	
堤脚の土留の高さ及び材料	()m 土留()	側壁板()支柱()

(5) 警鳴装置の構造等は、下記の事項並びに電気配線図、仕様書及び設置図による。

項 目	警 鳴 を 発 す る 装 置	警 報 を 発 す る 装 置		
メーカー及び型式				
設置場所	火薬庫の外壁・付近()	火薬庫の外壁・付近()		
本 体	外 函	鉄板製、厚さ()mm	鉄板製、厚さ()mm	
	錠の種類			
	開口 部の 防護 措置	雨・雪の進入		
		虫類の進入		
		回路の外部接触		
警 報 器	種類	サイレン・ブザー・スピーカー・ベル	サイレン・ブザー・スピーカー・ベル	
	警報等の始動及び音量	扉(開放・振動)()デシベル	扉(開放・振動)()デシベル	
回 路	庫内電流	爆薬庫()A 火工品庫()mA		
	切断対策	警鳴を発する・金属管で保護	警鳴を発する・金属管で保護	
	保安装置	避雷器・ヒューズ()mA	避雷器・ヒューズ()mA	
	テスト装置	スイッチ式	スイッチ式	
電 源	電池(電圧の消耗状況)	メーター・表示灯	メーター・表示灯	
	交流(停電時の措置)	予備電池に自動切り替え	予備電池に自動切り替え	

(6) 注水設備及び夜間点燈装置は、下記の事項並びに施設設置図による。

項 目	火 薬 庫
注水設備	
夜間点燈装置	有（施工図及び設置図による。）・無

4. 貯蔵上の取り扱い

(1) 最高最低寒暖計を爆薬（火薬）室内に設置する。

(2) 火薬類の貯蔵は、下記の事項及び別図による。

火薬類の最大貯蔵量（外装の寸法による計算式を明示すること。）

爆薬（火薬）室内

火工品室

(3) その他の取扱いは、火薬類取締法施行規則第21条の規定による。

5. 火薬類取扱保安責任者の選任予定（保安手帳持参）

区 分	氏 名（年 齢）	免 状 の 種 類	保安手帳番号
取扱保安責任者	()	()種取扱免状	
同代理者	()	()種取扱免状	

選任届書は、火薬庫完成検査申請書と同時に提出します。

6. 火薬庫竣工予定

年 月 旬